

東部支部巡検会の報告：東伊豆の火山地形と地質

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-05-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 斎藤, 俊仁 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00025177

東部支部巡検会の報告

～東伊豆の火山地形と地質～

斎藤俊仁*

はじめに

平成9年12月7日(日)に行われた東部支部巡検会は、約20名余の参加者が伊東市のJR宇佐美駅に集合して行われた。午前10時に宇佐美駅を出発し、静岡大学教育学部の小山真人先生の案内で①大室山山麓、②岩ノ山、③蛇喰川上流、④中伊豆町歴史民族資料館の4つを回った(図1参照)。

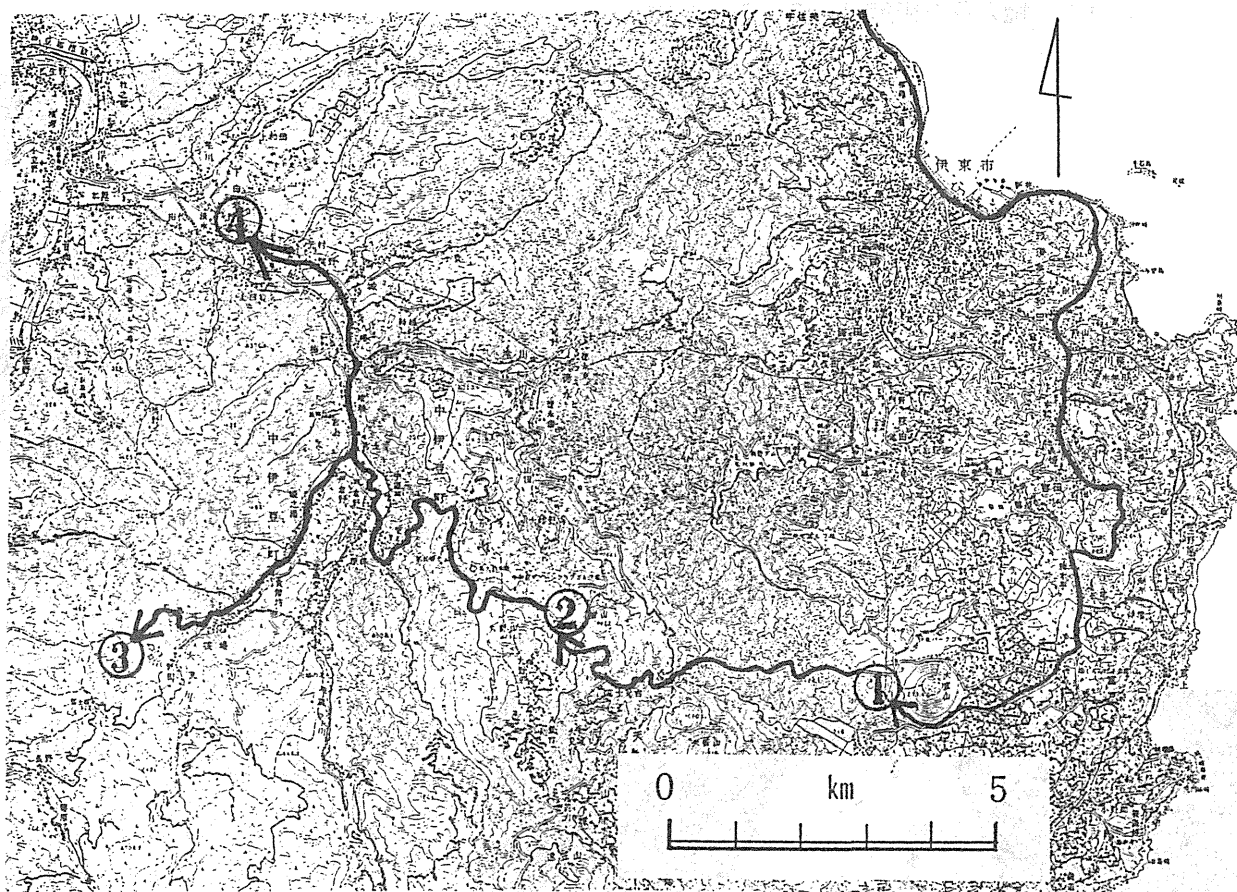


図1 東部巡検会コース案内図

好天に恵まれ伊豆七島など眺望が期待出来る日であったが、この日は大室山山頂には登らず、大室山西方山麓に位置する「蠟人形美術館」の裏手駐車場の土手に現れている露頭へ直行した。

① 大室山火山テフラ路頭

「蠟人形美術館」の裏手にある駐車場の土手は表面が削られたままになっており、大室山テフラ観察の格好の場所である(写真1)。この露頭には、上部に黒色(ないし赤色)の葉理の発達した大室山

*伊東市立宇佐美中学校



写真1 蠟人形美術館横大室山テラフ露頭



写真2 岩ノ山火山噴出物露頭

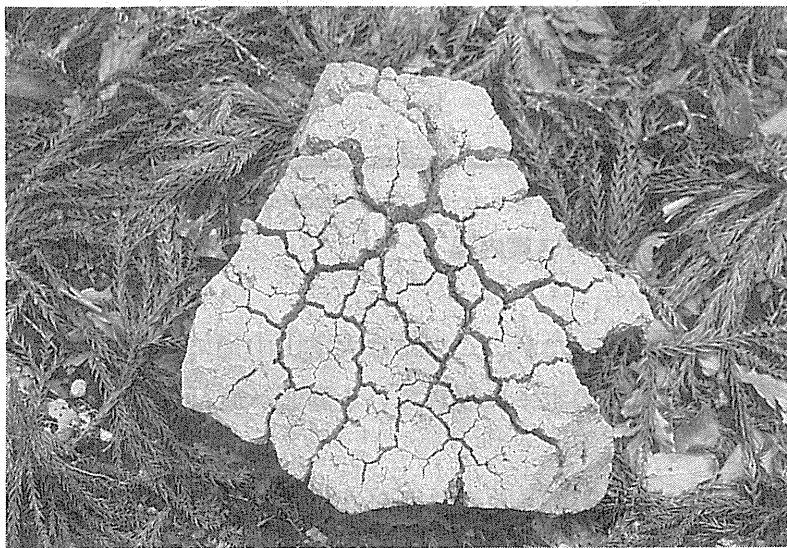


写真3 岩ノ山火山のパン皮状火山弾

テフラが厚く層をなして堆積しており、直上部にレスを少し缺んで2500年～3000年前に活動した岩ノ山テフラが厚く堆積していて、活動年代を推定するのに都合が良い。また、大室山テフラの下部には、8.8万年前の箱根 Da-5 軽石火山灰、9.5万年前の鬼界葛原火山灰、10.4万年前の箱根 Da-4 軽石火山灰等が観察でき、近隣の火山活動の年代推定にも利用できる。大室山は初期に火山灰を多く噴出し、後期に大量の溶岩を流したため、埋もれたテフラを観察できる場所が限られており、この露頭は貴重なものである。

② 岩ノ山

岩ノ山は伊豆スカイライン終点の天城高原料金所の北方約1 kmにある、デイサイト質の火山で、スコリアと外来岩片からなる大量の火山礫を噴出した、この地域で最も新しい活動の火山である。



写真4 蛇喰川上流の亀裂のような沢

スカイラインから林道に沿って約500 mほど下ると、道路工事によって出来た土手が岩ノ山火山噴出物の大露頭となって現れている(写真2)。

露頭の中央をほぼ水平に褐色の火山シルト層が走り、これを境目として、上部はガラス質のデイサイト礫層、下部は雑多な岩質の外来岩片を多く含む粗粒の玄武岩質角礫層となっている。

付近の幾つかの露頭の状況から、岩ノ山は玄武岩質マグマによる水蒸気マグマ噴火として始まり、後にデイサイト質マグマの噴火に変化していったものと考えられている。噴火当時強い西風が吹いていたためか、粗粒の角礫岩が遠く富戸の海岸までかなりの厚さで堆積している。ここで正午となり、露頭を眺めながら全員で昼食をとった。

林道のあちこちにバン皮状火山弾が見られ、手頃な大きさのものをサンプルとして採集することができた(写真3)。

③ 蛇喰川上流

スカイラインを冷川へ向かう途中、国民宿舎「中伊豆荘」の横から林道沿いに管引へ下り、筏場から蛇喰川の上流へ向かう。

この地域一帯にはカワゴ平火山の火砕流堆積物が最高40 mにわたって堆積している。川の向こう岸へ渡ると突然大きな亀裂といってよいくらいの急な沢にぶつかり、厚さ20 m以上の火砕流とそのうえを覆うラハール堆積物を観察することができた(写真4)。

この地域は厚い火砕流が堆積したことによって土地が荒れ、大雨によって何度も洪水が発生し、ラハール堆積物を堆積させたらしい。

また、火砕流からガスが抜けた時にできた軽石がパイプ状に集まったおもしろい構造(偏析パイプ)も見られた。

④ 中伊豆町歴史民族資料館

巡検会のまとめとして、最後に中伊豆町歴史民族資料館を見学した。館内には遺跡からの発掘物や民族的資料と共に地学的に興味深いものが幾つか展示されていた(写真5)。

カワゴ平から流れ出た軽石と黒曜石、狩野川の川底から発掘された鉄石英(伊豆石)等の岩石・鉱物の他に、火砕流の中から発掘された神代杉、白浜層群下白岩層の大型有孔虫レピドシクリナ等である。

天候の変化や時間の制限などの問題で、フィールドへ出られなくなった場合などはかなり活用できる施設で、今回のようにまとめとして資料などを確認するには好都合であった。

歴史的、民族的なものが多数展示されていたが、今回は主に地学的なもののみを中心に約30分間見学し15:00過ぎに資料館の駐車場で現地解散とした。

今回の巡検会は観察ポイントの数を絞り、時間をかけてじっくりと取り組めたため、非常に印象に残る巡検会となった。難解な火山灰の解析について、終始分かりやすくていねいに説明して頂いた小山真人先生に、心から感謝したい。



写真5 中伊豆町歴史民族資料館内部